

安倍首相を動かすJR東海葛西名誉会長!?

『週刊朝日』2014年8月29日号の第二次安倍内閣「首相動静」経済人記載回数ランキングによると、何と葛西名誉会長が登場回数1位です。その親密ぶりは半端ではありません。8月20日、広島市で大規模な土砂災害が発生しました。当日、森喜朗元首相ら親しい自民党関係者や財界関係者とゴルフをしていた安倍首相は、途中で切り上げ11時頃に東京に戻りましたが、18時前に再び別荘に戻ったというのです。

「東京で診察すると誰かに目撃される恐れがあるから、慶応大学病院の主治医を山梨の別荘に呼んでいた」というのが医療関係者の話のようです。しかし、その翌日、安倍首相は葛西名誉会長と会談をしたというのです。大規模災害の安否よりも、葛西名誉会長との会談を優先するとは、1位を取るだけの強力な人間関係ということでしょう。

その強力な人間関係に支えられて、軍事政策はやりたい放題、リニアの米国展開も思い通り、ということでしょう。8月25日『朝日新聞』は「リニア軍事転用の懸念も」という記事を掲載しました。「リニアは日米同盟のため」というのは、このことを指すのでしょうか？

ところで、葛西名誉会長が10年以上前、政財界人のヨーロッパ遊興ツアー中に吐いたという過激な発言がフェイスブックで暴露されました！「そろそろどこかで戦争でも起きてくれないことには、日本経済も立ちゆかなくなってきましたなあ。さすがに日本の国土でドンパチやられたのではたまらないから、私はインドあたりで戦争が起きてくれれば、我が国としては一番有り難い展開になると思ってますよ」というものです（「杉並からの情報発信です」山崎康彦氏のHPより）。日本経済のために人殺しをするという発想は、もはや人間ではありません。

このような思想の持ち主が、安倍内閣が進めている解釈改憲＝集団的自衛権の行使を提言した安保法制懇のメンバーなのです。この発言から判断しても、葛西名誉会長や安倍首相は戦争をやりたくてウズウズしているに違いありません。

このような連中に政治家や経営者を任せたら、暗黒の世界になることは間違いありません。直ちに政界・財界から身を引くべきです。

「インドあたりで戦争が起きてくれれば良い」
安倍首相と同じ思想の葛西名誉会長の過激発言!?